



岡山産業保健総合支援センター

《おかやまさんぽメールマガジン》 第 83 号 2015 年 1 月 5 日(月)



INDEX

- 1 新年のごあいさつ
- 2 相談員便り
- 3 センターからのお知らせ(相談・研修・行事案内)
* 平成 26 年度研修会のご案内
- 4 編集後記

1 新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

厚労省は昨年 4 月に平成 25 年度まで続いた都道府県産業保健推進センター並びに産業保健推進連絡事務所における産業保健推進センター・メンタルヘルス対策支援センターの 2 事業と労働局傘下の地域産業保健センター事業を一元化させた上で、その 3 事業全てを(独)労働者健康福祉機構に移譲し、従来の都道府県センターを産業保健総合支援センターと改称してスタートさせ、産業保健事業のワンストップサービスを図っていくことになりました。

そこで現在、岡山県医師会長を務めている小職が第 1 代岡山産業保健総合支援センター所長を拝命致すことになりました。又、従来の県内 7 地域産業保健センター事業についても当センターが統括していくこととなりました。この為、岡山産業保健推進連絡事務所としての 1 年間は副所長なる役職は不在でしたが、本年度から副所長職が復活し岡

山労働局より山本正晴副所長が転任されました。更に地域産業保健センター事業が移譲された為、岡山県医師会から松山庶務担当理事が運営主幹として任命されました。この他、労働衛生専門職なる実務者も2名加わり、臨時事務員を含め 10 名事務体制で初年度の事業を精力的にこなしております。

しかし、センター諸事業の平成 26 年度の推進に当たりましては例年通り活力ある運営が出来たと自負しております。これも各方面の皆様方から多大なご支援を賜ったお陰だと感謝致しております。本年も地域におけます更なる産業保健の推進・活性化に向けて、岡山労働局・岡山県医師会並びに関係諸団体のご支援を賜りながら職員一同鋭意努力していく所存です。

何卒、本年も昨年同様のご支援ご協力をお願い致します。皆様方のご健勝とご活躍を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

岡山産業保健総合支援センター 所長 石川 紘

2 相談員便り

『白寿のお祝い』 保健指導相談員 福岡悦子

我が家には、大正 6 年 10 月 30 日生まれの主人の母がいます。私は、親一人、子ひとりに嫁いで 38 年になりました。義母は 65 歳まで女性の多い職場で働き続け、さらにリーダーとして女性社員をまとめていた人でしたが、結婚後 7 年目から同居を始めました。義母は共働きをしていた私たちを全面的に支えてくれました。3 人の子達の参観日や夕飯の準備等お任せで、私は大変呑気だとぼけた嫁さんでした。さらに、出張や飲み会でいやな顔をされたことは一度もありません。若い頃、将来長男のお嫁さんに私が母にしてもらったようにはできないかもしれないと思ったほどでした。還暦、古希、喜寿、傘寿、卒寿と長寿の祝をしてきましたが、90 歳頃から孫たちが誕生日には集い(末娘が段取り役で、兄や姉に相談)、母の好きな“すき焼きパーティー”をしてっていました。

2014年10月30日には白寿を迎えることとなりましたが、9月24日大事件が勃発しました。2-3日前から咳をしており、気になったので24日昼頃主人に電話し、様子を聞きました。これまで咳をしても特段変わったことはなかったのですが、様子がおかしいと言います。直ちにかかりつけの主治医に電話したところ、“熱は？”と聞かれ、体温測定の結果、発熱が判明しました。私が帰宅した夕方6時半頃は、意識が朦朧としており、一瞬、白寿のお祝いどころではないと思いました。母は30歳代後半から高血圧の治療を受けていましたが、初孫が5歳のころ主治医が変わり、以後約30年以上、毎月お世話になっている主治医が、雨の中、夜8時過ぎに初めて往診してくださいました。私は先生の顔を見ただけで安心できました。血圧・体温測定、聴診、採血、抗生物質の注射などの処置をしてくださる中で、点滴をもってくればよかったと言われ、それはそうだと納得したわけです。私も娘も看護師の資格は持っていますから。母は大正生まれの女性としては大柄で、現在大層立派な体格です。当日トイレで倒れていた母をベッドに運ぶのに主人が慌てただけでなく、自宅で見るには限界を感じたと言いました。主治医は、今後、施設入所も視野に入れることも可能だが、入院すると一気に弱るとも言われました。白寿の祝いを目指して頑張ることになったのですが、主治医は朝・晩に様子を尋ねてくださり、患者を大切にしておられることを身をもって経験しました。その後10日ほどで奇跡的に回復し、11月1日、白寿のお祝いをすることができました。白寿の祝い当日、孫やひ孫が集合し、写場で記念撮影をすると伝えると嬉しそうな顔をしてくれ、普段着からよそ行きに服を着替えて写場に向かい、いい顔で記念撮影ができました。

現在は、これまで通り、毎朝味噌汁を作ってくれています。

3 センターからのお知らせ（研修）

■ 産業保健研修会(会場:岡山労災病院)のご案内 ■

実際に産業保健現場で実務を行う機会のある方を支援するための事例検討を中心とした『アドバンスコース』として実施します。職種は問いません。産業医の生涯研修単位を取得できます。

初めて受講される方には総論内容をまとめた DVD の視聴を推奨します。
(DVD入手は、<http://www.unit-gp.jp/eisei/wp/?p=1809>)
※DVD 入手の際に必要な『キーワード』は、研修会申込時にお知らせ
します。

受講料：3,000 円

(資料代として NPO 法人が管理します。受付時にお支払い下さい。)

定員：20 名

◆平成 27 年 1 月 15 日(木) 19:00～21:00

演題：メンタルヘルス対応 労働安全衛生法改正(メンタルチェック)へ
グループワークによる事例検討

講師：高尾総司(岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 講師)
岸本卓巳(岡山労災病院 副院長)

場所：岡山労災病院別館 3 階会議室

単位：生涯更新1単位、生涯実地1単位

◆平成 27 年 2 月 12 日(木) 19:00～21:00

演題：メンタルヘルス対応 安全配慮義務にかかる大いなる誤解
グループワークによる事例検討

講師：高尾総司(岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 講師)
岸本卓巳(岡山労災病院 副院長)

場所：岡山労災病院内 看護専門学校1階会議室

単位：生涯専門1単位、生涯実地1単位

◆平成 27 年 3 月 19 日(木) 19:00～21:00

演題：メンタルヘルス対応 やってはいけないこと
グループワークによる事例検討

講師：高尾総司(岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 講師)
岸本卓巳(岡山労災病院 副院長)

岩瀬敏秀(岡山大学大学院 地域医療支援センター 助教)

場所：岡山労災病院別館 3 階会議室

単位：生涯専門1単位、生涯実地1単位

・・・産業保健研修会の詳細は、こちらでご確認ください。

<http://www.okayama-sanpo.jp/01-ke.html>

■産業保健研修会(会場:岡山医療センター)のご案内■

◆平成 27 年 2 月 24 日(火)19:00~21:00

演題: ルール・業務遂行レベルにもとづくメンタル対応(応用編)

講師: 高尾総司(岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 講師)

場所: 国立病院機構岡山医療センター(岡山市北区田益 1711-1)

西棟 8 階会議室

単位: 生涯専門 2 単位(産業医の方は取得できます。)

対象: 産業保健に関心のある方(職種を問わない)

受講料:2,000 円

・・・産業保健研修会の詳細は、こちらでご確認ください。

<http://www.okayama-sanpo.jp/01-ke.html>

■ 岡山産業保健総合支援センター主催セミナー・研修会 ■

⇒⇒⇒ 会場が「ピュアリティまきび」の研修会

場所:ピュアリティまきび 会議室(岡山市北区下石井 2-6-41)

受講料:無料

※ お車でお越しの際は、ピュアリティまきびの駐車場をご利用ください。
駐車場は無料をご利用いただけます。駐車券は、お帰りの際にフロントまでお持ちください。但し、駐車場が満車の場合はご利用いただけません。ご注意ください。

研修会・セミナーの情報・お申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/01-ke.html>

日時: 2/17(火)14:00~16:00

研修テーマ: 防ごう骨粗鬆症!

内容: 骨粗鬆症予防のための日常生活の注意について

講 師： 福岡相談員

日 時： 2/25(水)14:00～16:00

研修テーマ： ストレス対処法について

内 容： 講義及びロールプレー

講 師： 大月相談員

【産業看護職向けの研修会】

日 時： 1/20(火)14:00～16:00

研修テーマ： 保健指導の基本

内 容： 保健指導の主役は社員です。ご本人に役立つ支援の仕方について

講 師： 福岡相談員

⇒⇒⇒ 会場が「岡山大学鹿田キャンパス」の研修会

※下記研修会の会場は「岡山大学鹿田キャンパス」

医学部基礎研究棟1階小セミナー室(岡山市北区鹿田町2丁目5番1号)

※受講料無料。駐車場がありませんので、公共交通機関でお越しください。

※シリーズとなっていますが、各研修会単独で受講できます。

※産業保健研修会(岡山労災病院)の講師を務める高尾総司先生の研修会です。「職場は働く場所」の大原則を前提に、メンタルヘルス対策等を考えます。

日 時： 1/19(月)14:00～15:30

研修テーマ： 労務管理によるメンタルヘルス対策シリーズ7

内 容： 第7回 過重労働対策の実際

日 時： 2/16(月)14:00～15:30

研修テーマ： 健康診断事後措置シリーズ1

内 容： 各論1 安全配慮義務の履行

日 時： 3/9(月)14:00～15:30

研修テーマ： 健康診断事後措置シリーズ 2

内 容： 各論 2 福利厚生としての実施

産業医研修会・セミナーのお申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/01-ke.html>

- ▼研修会の受付は各研修会会場で行います。直接、お越し下さい。
- ▼今後、研修会開催場所に関しては変更になる可能性があります。変更になった場合は、速やかに御連絡いたします。
- ▼お問合せは、下記アドレス宛にお送りください。

E-mail: info@okayama-sanpo.jp

4 編集後記

新しい年が始まりました。「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。元旦は過ぎましたが、1年の仕事はこれから始まる事業場もあるかと思えます。「労働災害ゼロ」、「不休災害ゼロ」、「年休全取得」、「メンタルヘルス不調者ゼロ」、「健康診断受診率100%」等早めに目標・計画を立てましょう。今年も岡山産業保健総合支援センターは、皆様のお役に立てるよう支援します。より素晴らしい1年になりますように。

次回の第 84 号は 2 月 2 日(月)の配信予定です。